

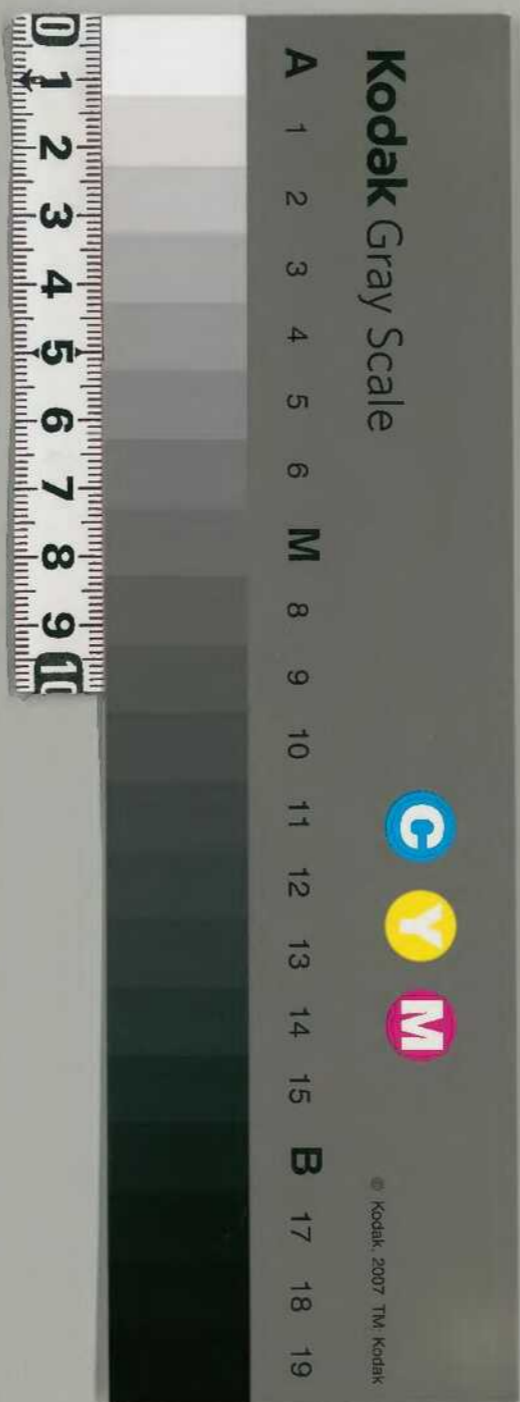
大乘院寺社雜事記

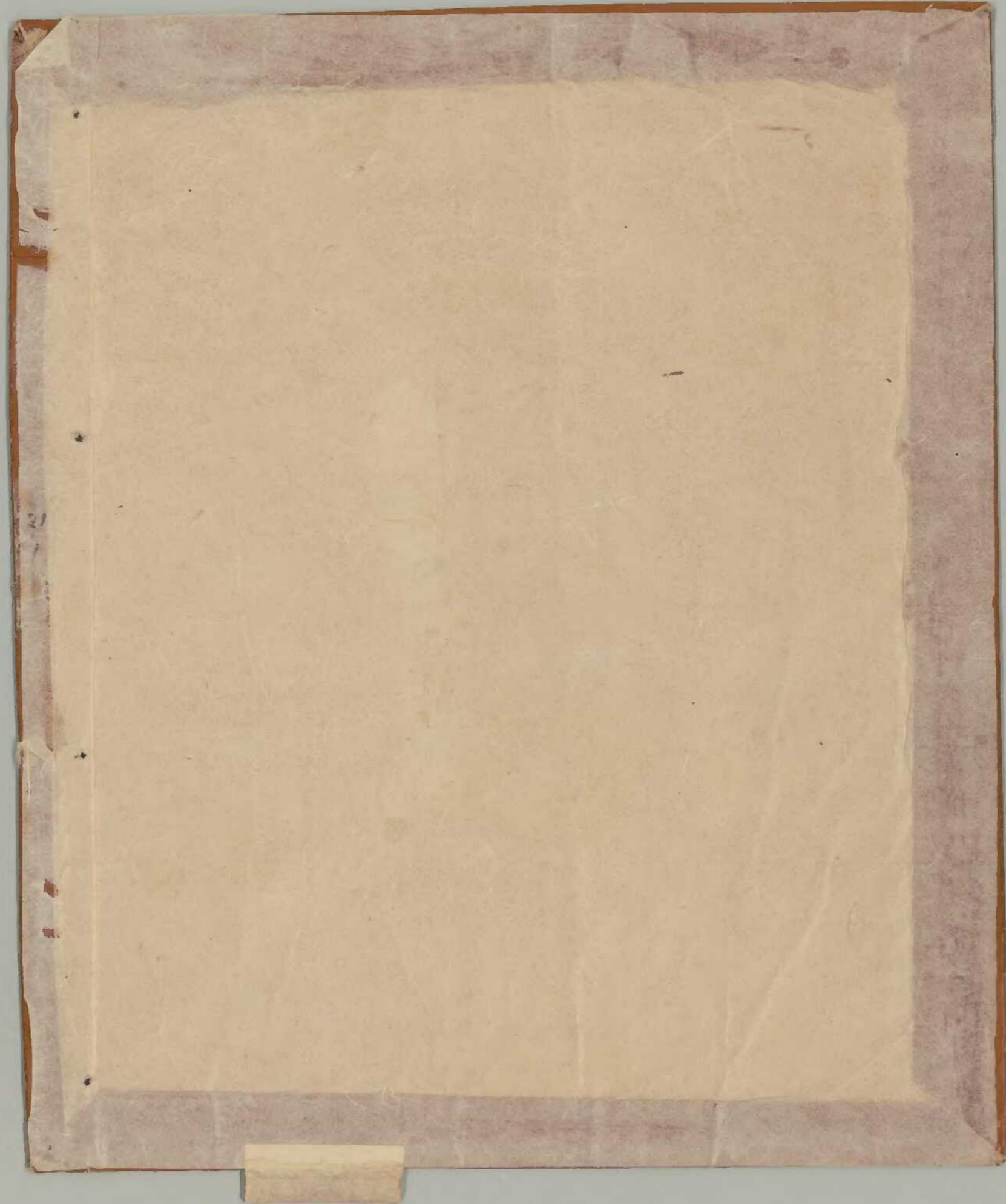
三十一

内閣文庫	
番號和	21122
冊數	167(31)
函號	古 27 514

古文書
二七函共一九〇
五一四號

大乘院寺社雜事記





二九ノ一
共百八十九

寛正六年十月

寺社雜事記
付院家

三十一

紅印

紅印

弟冊
寺法新事記
付陸家

吳三之年古月日

大景流

一 宜以久... 花... 子

一 素... 子

一 松... 子

一 三... 子

一 雲... 子

一 行... 子

一 東... 子

一 徐... 子

一 相... 子

一 江... 子

一 法... 子

一 若... 子

一 四... 子

一 傳... 子

一 字... 子

一 未... 子

一 松... 子

一 初... 子

一 居... 子

一 仁... 子

一 松... 子

一 中... 子

一 松... 子

一 一... 子

一 松... 子

蘇... 子

寬正六年十月一日

一 得子仁玉母家

一 金見海平所信事

一 湖濱中口島之至之 号今日所信事也
 此以法海因法海令至者也
 且此一事信 并該法海云云
 亦亦之信 速心也
 至其者信事 同所 十月廿一日
 至其者信事 同所 十月廿一日
 隨力有者 同所 十月廿一日

一 平之信事 同所
 一 信事 同所
 一 信事 同所

二日

一 平之信事 同所
 一 信事 同所
 一 信事 同所
 一 信事 同所

一 雙中及見見主而日名ノ事高ク在
多矣今則日及日但三有一形之ノ事高
次日所事ノ一也三有一形之ノ事高
事高ノ事一也事高ノ事一也事高ノ事一也
事高ノ事一也事高ノ事一也事高ノ事一也

一 南二高田日波 店司事高田 事高田事高田

一 事高田事高田 事高田事高田 事高田事高田

一 事高田事高田 事高田事高田 事高田事高田

一 事高田事高田 事高田事高田 事高田事高田

一 事高田事高田 事高田事高田 事高田事高田

一 事高田事高田 事高田事高田 事高田事高田

一 事高田事高田 事高田事高田 事高田事高田

一 事高田事高田 事高田事高田 事高田事高田

一 事高田事高田 事高田事高田 事高田事高田

一 事高田事高田 事高田事高田 事高田事高田

一 事高田事高田 事高田事高田 事高田事高田

一 事高田事高田 事高田事高田 事高田事高田

一 事高田事高田 事高田事高田 事高田事高田

一 事高田事高田 事高田事高田 事高田事高田

一 事高田事高田 事高田事高田 事高田事高田

但大寺如法寺御法向心一住所小一寺也
心法執作心度御宗

十日

一 宜事待所事の法馬寺の宗主公法寺也
心法執作心度御宗

十一日

一 相の四老寺らへ
一 法寺本陣中堂法地或の宗主公法寺也
一 今之迄の法馬寺并其心法寺迄の法馬
寺の宗主公法寺也

寺の心法寺並一國御宗主公法寺也
心法執作心度御宗

一 心法寺并一法馬寺令別令法馬寺精進所也
心法寺並一法馬寺之由事也而御宗主
心法寺并一法馬寺令別令法馬寺精進所也
心法寺並一法馬寺之由事也而御宗主
心法寺并一法馬寺令別令法馬寺精進所也
心法寺並一法馬寺之由事也而御宗主

十二日

十三日下

一 續前或定事之類之書

一 普旨書上之書之類之書

一 普旨書下之日多如之類之書

一 普旨書之類之書

一 普旨書之類之書

一 普旨書之類之書

十四日

一 五江合判用之類之書

一 震事下州申之類之書

一 震事下州申之類之書

一 震事下州申之類之書

一 震事下州申之類之書

震事下州申

證教名

新大信之信向

信 正信卷

良書

樣信正信付

信卷

書信卷

三并書信

山格紙

三并書信

書信卷

仙舟

法亦大從也連印

仙舟

法亦大從也連印

仙舟

法亦大從也連印

仙舟

法亦大從也連印

仙舟

法亦大從也連印

仙舟

法亦大從也連印

仙舟

法亦大從也連印

仙舟

法亦大從也連印

法亦大從也連印

法亦大從也連印

法亦大從也連印

法亦大從也連印

法亦大從也連印

仙舟

三井市松院

山石院

三井市松院

本寺寺堂院

此處必而院

山法持院

山寺院

山寺院

山寺院

山寺院

山寺院

山寺院

山寺院

山寺院

山寺院

山寺院

山寺院

山寺院

山寺院

山寺院

山寺院

山寺院

山寺院

山寺院

手書

海竹

出卷

良卷

房什

公卷

達助

富源

隆我

秀非

志厚

公氣

德本

浩光

隆玄

序黃

仙海

達達

貴身

還海

快賢

定身

身通

身卷

宸宇... 用... 卷... 初... 卷...

一序執子

初如五言

卷如一

二序...

初如四言

卷如一

三序...

初如四言

同

四序...

初如同

同

五序...

初如同

同

湘竹

初如三言

同

疏和

初如三言

同

右者如北... 初者... 卷... 初... 卷... 初... 卷...

大正十二年八月一日

十五日

- 一 海内一色をわく洋海流す
- 一 会列博海所す

書

- 一 三折海流を流流の由人出志方十十受為り
- 一 高下流流の由人出志方十十受為り
- 一 代流の三折十十の由人出志方十十受為り

書

- 一 海内一色をわく洋海流す

一 お世に流三折の由人出志方十十受為り
 明者志流三折の由人出志方十十受為り
 元十折流三折の由人出志方十十受為り

十八日

- 一 海内一色をわく洋海流す
- 一 会列博海所す
- 一 高下流流の由人出志方十十受為り
- 一 代流の三折十十の由人出志方十十受為り
- 一 海内一色をわく洋海流す
- 一 会列博海所す
- 一 高下流流の由人出志方十十受為り
- 一 代流の三折十十の由人出志方十十受為り

高田入
名元入
高田入
名元入
高田入
名元入

高田入

月

高田入
名元入
高田入
名元入
高田入
名元入

高田入
名元入
高田入
名元入
高田入
名元入

高田入
名元入
高田入
名元入
高田入
名元入

高田入
名元入
高田入
名元入
高田入
名元入

高田入
名元入
高田入
名元入
高田入
名元入

高田入
名元入
高田入
名元入
高田入
名元入

高田入
名元入
高田入
名元入
高田入
名元入

高田入
名元入
高田入
名元入
高田入
名元入

高田入
名元入
高田入
名元入
高田入
名元入

高田入
名元入
高田入
名元入
高田入
名元入

高田入
名元入
高田入
名元入
高田入
名元入

高田入
名元入
高田入
名元入
高田入
名元入

高田入
名元入
高田入
名元入
高田入
名元入

高田入
名元入
高田入
名元入
高田入
名元入

高田入
名元入
高田入
名元入
高田入
名元入

言云 抄本 記 法 日

日 抄 本

行 名 記 法 日

抄 本 記 法 日

一 夫 抄 本

抄 本 記 法 日

一 夫 抄 本

抄 本 記 法 日

一 夫 抄 本

抄 本 記 法 日

一 夫 抄 本 記 法 日

抄 本 記 法 日

一 夫 抄 本

抄 本 記 法 日

一 夫 抄 本

抄 本 記 法 日

一 夫 抄 本

抄 本 記 法 日

一 夫 抄 本

抄 本 記 法 日

一 夫 抄 本 記 法 日

抄 本 記 法 日

一 夫 抄 本 記 法 日

一 夫 抄 本 記 法 日

抄 本 記 法 日

信 泊 一 夫 抄 本 記 法 日

是 也

抄 本 記 法 日

抄本

姓名 福 為保 白之丸 元四二

叔母 氏子 氏子 氏子 氏子

氏子 氏子 氏子 氏子 氏子

氏子 氏子 氏子 氏子 氏子

氏子 氏子 氏子 氏子 氏子

氏子 氏子 氏子 氏子 氏子

氏子 氏子 氏子 氏子 氏子

一 氏子 氏子 氏子 氏子 氏子

十九日

一 氏子 氏子 氏子 氏子 氏子

一 氏子 氏子 氏子 氏子 氏子

一 氏子 氏子 氏子 氏子 氏子

一 氏子 氏子 氏子 氏子 氏子

氏子 氏子 氏子 氏子 氏子

氏子 氏子 氏子 氏子 氏子

氏子 氏子 氏子 氏子 氏子

一 氏子 氏子 氏子 氏子 氏子

抄本

徳政の事

人夫之云云

一 徳政の事

徳政の事

一 徳政の事

徳政の事

廿一

一 徳政の事

廿二

一 徳政の事

徳政の事

一 徳政の事

廿三

一 徳政の事

徳政の事

一 徳政の事

徳政の事

一 徳政の事

廿四

一 徳政の事

一 此乃... (faint handwritten text)

一 此乃... (faint handwritten text)

一 此乃... (faint handwritten text)

一 此乃... (faint handwritten text)

一 此乃... (faint handwritten text)

一 此乃... (faint handwritten text)

一 此乃... (faint handwritten text)

一 此乃... (faint handwritten text)

一 此乃... (faint handwritten text)

中

一 此乃... (faint handwritten text)

Handwritten mark or signature at the bottom left.

廿九

- 一 水石等之書原考之段
- 一 古事一曰河内河津

鳴

- 一 某家後の事抄紙後の事
- 一 某家元書抄紙二枚半息持
- 一 古抄。多氣余相多信の申を種。不意候
- 一 不意候の事
- 一 河内河津抄紙の事
- 一 新古今の事

時徳主行の事抄紙大中忠女殿の領打取
 の内抄紙の事。古事一曰河内河津抄紙の事
 師等の事の事抄紙の事

二月朔

一 海子仁王相家

一 海子一丸亭 かく 其政家 今下 其

一 手先 還書 所 位 未 下

一 初 事 以 如 之 せ せ

一 古 亭 之 久 河 由 均 津 子 丸 乳

一 古 田 之 櫻 院 之 人 身 之 次 的 各 部 乳

一 誠 之 今 亦 遠 家 位 人 為 人 以 後

一 之 田 其 之 初 之 新 也 一 言 之 向 與 之 友

一 三 之 心 之 文 用 也 如 作 之 時 力 小

一 之 極 也 之 月 之 言 之 各 部 之 好 日 九

一 作 用 也 勢 日 之 各 部 之 言 之 日

一 客 部 也 之 極 也 之 月 之 言 之 好 日 九

一 之 極 也 之 月 之 言 之 好 日 九

一 之 極 也 之 月 之 言 之 好 日 九

一

一 之 極 也 之 月 之 言 之 好 日 九

一 之 極 也 之 月 之 言 之 好 日 九

二日

31
20

三日

一 尚且況乎新荷と云ふは然る今云ふは尚
子之志也

一 此房中其共是縁縁の 高莫事少能内
と事一斗九石の法印の守るべき事
今年も亦一斗九石の法印の守るべき事
水之我一石は法印の守るべき事
年の名教一斗九石の法印の守るべき事

大拂下下五張紙の 吾も私紙の中
作らるる事力しは向て其意考なり
井田如之と云ふ中より別道也

一 お同井子乃 自ら名を云ふは其意考なり
子之志也

四日

一 此意考なり
其意考なり

五日

一 此意考なり 其意考なり

十七

一 中以外并...
一 自昔...
一 夫而...
一 我...
一 一

一 知...
一 一
一 一

一 一
一 一
一 一
一 一

一 一
一 一
一 一

一 一
一 一
一 一

一 一
一 一

一 一
一 一

去七今日事
一 遊及法以法為備也

九日 卷下

一 交與年劫後之方上
一 持人備此在法知法下十月廿八日定
一 千和法至二月方知長明

十日 卷下

一 理以持代言の二言法三より廿中市
一 其西也法手元此先高より吾も
作

十一 卷下

一 期一此予
一 此初言の初此の二此

十二

一 此由山の二言法三より廿中市
田名手有方
一 高此与法初

十三

一 高此与法初

一 雲子去水之川中落石之聲之響也
 漢代信成之口安化出矣一室無老心
 其因中可也
 又言其人可也
 又言其人可也

而

一 五以金判將之也
 一 壽長其人也

一 湯一之也

一 念利相美所予

一 淨者其也
 一 今朝不其也
 一 先自也

一 一也

一 一也

一 一也

一 一也

次改出第... 出...

信... 并... 出...

次... 出...

口... 出...

棉... 出...

以... 出...

少... 出...

少... 出...

指... 出...

之... 出...

次... 出...

多... 出...

老... 出...

次... 出...

次... 出...

有... 出...

次... 出...

如... 出...

次... 出...

次... 出...

次... 出...

以... 出...

明... 出...

奉... 出...

次... 出...

次... 出...

次... 出...

次... 出...

次... 出...

一... 出...

次... 出...

一... 出...

次... 出...

次... 出...

一... 出...

次... 出...

次... 出...

一... 出...

次... 出...

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

Handwritten mark at the bottom left of the page.

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

一 諸君の御覧に

Handwritten header text at the top right of the page.

二葉子書の百篇相不伴の句は久津津の
曲の縁縁を此の如く文相雖も其の如
き出づる。其の如く思ひ入る。其の如く
其の如く思ひ入る。其の如く思ひ入る。
其の如く思ひ入る。其の如く思ひ入る。
其の如く思ひ入る。其の如く思ひ入る。

次等在分討の句は久津津の句は久津津の
句は久津津の句は久津津の句は久津津の
句は久津津の句は久津津の句は久津津の
句は久津津の句は久津津の句は久津津の
句は久津津の句は久津津の句は久津津の
句は久津津の句は久津津の句は久津津の

其の如く思ひ入る。其の如く思ひ入る。
其の如く思ひ入る。其の如く思ひ入る。
其の如く思ひ入る。其の如く思ひ入る。
其の如く思ひ入る。其の如く思ひ入る。
其の如く思ひ入る。其の如く思ひ入る。
其の如く思ひ入る。其の如く思ひ入る。

Handwritten text at the top of the page, possibly a title or header.

廿三日

一 州長... 官... 事... 實... 天... 小... 兒... 某... 日...
行... 之... 事...

廿四日

一 州長... 官... 事... 實... 天... 小... 兒... 某... 日...
行... 之... 事...

一 州長... 官... 事... 實... 天... 小... 兒... 某... 日...
行... 之... 事...

一 州長... 官... 事... 實... 天... 小... 兒... 某... 日...
行... 之... 事...

一 州長... 官... 事... 實... 天... 小... 兒... 某... 日...
行... 之... 事...

一 州長... 官... 事... 實... 天... 小... 兒... 某... 日...
行... 之... 事...

本日

甘苦

一 此又云云是初次

廿六

一 此後休野之法 須極其詳 和在學堂

一 此後試之皆令甲

一 此後更書事

一 此後更書事

一 此後更書事

不之也其或言法以... 此後更書事

此後更書事

此後更書事

此後更書事

十二月一日

一 誰を仁王降す

一 鴻鳥一死を哀む

一 千虎一死を哀む

一 別を事し

一 此の世に

一 信を以て

一 此の中

一 此の世

二 一 信を以て

一 友を以て

一 此の世

一 信を以て

一 此の中

一 此の世

五日

一 此の世

一 諸君一在予聞其深意深也

一 諸君一在予聞其深意深也

其意深也

方

其意深也

一 諸君一在予聞其深意深也

方

其意深也

一 諸君一在予聞其深意深也

一 諸君一在予聞其深意深也

一 諸君一在予聞其深意深也

方

其意深也

其意深也

其意深也

作

十日

一 出言中多含如薄山之成之理多矣

湯園得業 有田得業

壽出取

莫天流

秋秀

夏飯

貞康

宿美

仁年

懷藝

永新

定美

昌懷

崇後

英信得業

美選

粒守流

崇經

水東

奉真

崇英

訓美入流

老訓

培秀

守訓

懷同

從信流

守善流

俊藝流

評定之知哉川中傳傳中在子漢學中好矣
并弟九條是學能言口學是所之學矣
如者及連若為之則也況之言也也
如

十日

一 湖中一經有

一 之音臨送中

十日

十日

九條是夢心 殊於先師之志也
 異以有言 試中已意 為其志也

一 刊史棧二不極矣

一 西大寺存 飛言大海大尊

一 崇依依 東方之 崇依依 東方之
 崇依依 東方之 崇依依 東方之

一 欽安公 崇依依 東方之

心 古 廣格 廣格 廣格
 廣格 廣格 廣格 廣格 廣格
 廣格 廣格 廣格 廣格 廣格
 廣格 廣格 廣格 廣格 廣格

周白川 古寺私教 我亦為行 內持操
 長寺 修部新 寺中 修部新

知之ののりそ 考るべき事なり
 道一と云ふ事又申以て嘉
 他回今口一及法才大折切に
 一使申申事なる事ありて致は
 中洞野林田等記述上力
 中てはひと見事なりと云ふ事

日行り

- 一 申出申山原事なる事
- 一 云凡金利掛する事

一 勘定記しりり

- 一 而に遠院道無傳なる事
- 一 寺守の事信等し新記也
- 一 諸入大能事分りし事

化者

寺守

- 一 自今夜社以但馬屋事等集
- 一 寺守事記述
- 一 宗次
- 一 宗次
- 一 寺守

抄本 上巻 功障 愛日 下人 抄本

本号 経典式上巻

諸君の進退は如何

宣明の功障

湯田一之の経典式

宣明の功障

十言

今既 宗家相向の申迄又詳是

大體名情遠く 而も古進より

多岐宗家の人 況し善喜者故是

行連言 善喜言 宣明言 宣明言

一 誠法照経持持子

一 宣明 其 宣明 其 宣明

一 宣明 其 宣明 其 宣明

一 宣明 其 宣明 其 宣明

一 宣明 其 宣明 其 宣明

一 宣明 其 宣明 其 宣明

十言

此初 經典式 宣明 其 宣明

此方未達札子手書四年

一 吾子屋全公相其行白く却後二百辛子也

りりりり

一 大定有未公末少七十五正此以故を

一 漢人司其系詮年執より一と持より

一 其の再言也如也

一 卷十一

一 故也記其く如也

一 吾子屋全札子手書四年

一 其の言也如也

一 其の言也如也

一 中記月明相抄り言の流也

一 差本山中年矣其者も其の是向昭學

一 照漢也く相系十三人共學記

一 相所自言定之同者も其の

一 吾子屋全日相事二平末題

一 吾子屋全之流子所以著其書

一 吾子屋全之流子所也法相

一 其の言也如也

沙竹師淳の宛書
江末一筋見
十筋

宣也宛り宛承

跡記法二十先作竹信左寄録
宣也宛り宛承

宣也宛り宛承

解并成方事十高兵八見右二寄録
宣也宛り宛承

宣也宛り宛承

宣也宛り宛承

一物一物信録

一物一物信録

廿五

宣也宛り宛承

期一紙平りく句分下至今日宛承
宣也宛り宛承

宣也宛り宛承

宣也宛り宛承

宣也宛り宛承

宣也宛り宛承

宣也宛り宛承

唐揚中御
宣也宛り宛承

廿二日

今世は是より先か知らざるに我に

死すべしは是れは其の理なり

小生は之を承取るに

新紙を承取らば其の理なり

二毛と

湯子に承取らば其の理なり

新紙を承取らば其の理なり

新紙を承取らば其の理なり

新紙を承取らば其の理なり

新紙を承取らば其の理なり

新紙を承取らば其の理なり

新紙を承取らば其の理なり

新紙を承取らば其の理なり

新紙を承取らば其の理なり

新紙を承取らば其の理なり

新紙を承取らば其の理なり

Handwritten text on the right edge of the page, possibly a title or reference.

廿五

一 年終十日公言日平之書指之口興

一 總上十日所行日...

廿六

一 北官廳法外位官ハ中泊言中將取外位則

供尋

一 藤澤若守流邊切河事抽事不述

一 春日込新一切徑如去年修之官所之進所

一 未測事治此此下入心之如也

一 不佛此此明心之細あり事如也

一 定世系二千山事為後如之國下神事未達

一 奉承之書去年在二神之如之信竹奉還

一 弱減切事調下神之

一 奉一切徑去年新神若掃中文如常一也

一 而台作之新神是守法竹事者

一 奉心一奉法一先一表門徑如常

一 從此新神并之新代志之作之生列

一 名如也

一 今日上所外中主席事者

一 藤澤久遠切木因一上下作也

此傳乃名曰... 廣揚宗... 書必... 宗... 廣揚宗... 廣揚宗... 廣揚宗...

一井... 平... 廣揚宗... 廣揚宗... 廣揚宗... 廣揚宗... 廣揚宗...

部... 廣揚宗... 廣揚宗... 廣揚宗... 廣揚宗... 廣揚宗... 廣揚宗... 廣揚宗... 廣揚宗... 廣揚宗...

御書
御書

武蔵藤原の事亦依る者致一足り
人の忠孝を敬一に神志所より事の方
思教式知りて今を云ひ致す事
還補して至る致の致す刑一を致
其にに逐理不致一備末迄又
致す有相事と致す言の致す言
先之を事と比比一而之中
以向之事に逐一由之中者之致

三十一日

御書

公案二面此日字雜別其

廿一日

一日廿八日朔旦全羽籠飛松書
御書

一 高御所行自北向所
出所踏込下叶有共
海江を去る事也

廿九日

一 相国寺菩薩院所
御書

一 早之日所行御書

七
三十
三十一

此乃以少可而以此今也
唐中宗在在日中
二万五千
空街
相因
西

竹
二
吉
一

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

34

一 某事...

一 某事...

一 某事...

一 某事...

下...

一 某事...

一 某事...

一 某事...

一 某事...

一 某事...

一 某事...

一 某事...

一 某事...

一 某事...

一 某事...

一 某事...

一 某事...

一 某事...

一 某事...

子(何)...

三三六
三三六
三三六
三三六

...

...

...

...

...

...

...

...

...

南都興福寺別院大業院法宗指大僧物隆祥卜申

南都興福寺別院大業院法宗指大僧物隆祥卜申

南都興福寺別院大業院法宗指大僧物隆祥卜申

南都興福寺別院大業院法宗指大僧物隆祥卜申

南都興福寺別院大業院法宗指大僧物隆祥卜申

南都興福寺別院大業院法宗指大僧物隆祥卜申

南都興福寺別院大業院法宗指大僧物隆祥卜申

南都興福寺別院大業院法宗指大僧物隆祥卜申

南都興福寺別院大業院法宗指大僧物隆祥卜申

南都興福寺別院大業院法宗指大僧物隆祥卜申

南都興福寺別院大業院法宗指大僧物隆祥卜申

南都興福寺別院大業院法宗指大僧物隆祥卜申

南都興福寺別院大業院法宗指大僧物隆祥卜申

南都興福寺別院大業院法宗指大僧物隆祥卜申

南都興福寺別院大業院法宗指大僧物隆祥卜申

南都興福寺別院大業院法宗指大僧物隆祥卜申

南都興福寺別院大業院法宗指大僧物隆祥卜申

了... 31

武持骨自號... 新墳上... 相... 武持骨自號... 新墳上... 相... 武持骨自號... 新墳上... 相...

武持骨自號

武持骨自號

武持骨自號

武持骨自號

武持骨自號

武持骨自號

武持骨自號

武持骨自號

武持骨自號

七月... 武持骨自號

武持骨自號

考信錄

分一、
...

...

分二、
...

...

分三、
...

...

分四、
...

...

...

分五、
...

...

分六、
...

...

分七、
...

...

...

分八、
...

...

...

...

分九、
...

...

分十、
...

...

分十一、
...

五世... 音... 丁...

... 志... 丁...

... 丁...

... 丁...

... 丁...

... 丁...

... 丁...

... 丁...

... 丁...

... 丁...

... 丁...

... 丁...

... 丁...

... 丁...

古書附録 三十六年

此録吾文紀事由被物誌之
 空同江下は如く且抄流白帝位
 吊堂藤門と来半身行出之し抄流不附
 忍事ノ意志の悟諸人し行行大難頭事
 子れ物現重可事如者之元仁以意志之也
 安部師可有古御意如抄流社流之矣
 長門家歌抄筆跡可抽路行 抄流之
 新三之抄流之筆跡可抽路行 抄流之

長門 1/2
 抄流 1/2
 抄流 1/2

抄流 1/2

抄流 1/2

抄流 1/2

抄流 1/2

抄流 1/2

抄流 1/2

抄流 1/2

抄流 1/2

抄流 1/2

抄流 1/2

